

謹



賀

明けましておめでとございます。

昨年は相次ぐ風水害や中越地震など災害の多い年でしたが、今年こそ、より多くの幸せにあふれた年であってほしいものと願っております。

まだまだ厳しい社会情勢の続くなか医療の面においても「改革」が合い言葉となり、総医療費を抑制する政策が取られております。

しかし、どのような社会情勢になろうとも、中東遠地域の中核病院として、「愛365日」の精神を持って、この地域の皆様に満足と安心をもって受け入れられる、より質の高い医療を提供することに努めていきたいものと存じます。

（ 昨年の業務を振り返って ）

昨年四月、診療報酬は薬価で〇・八九%、診療材料で〇・



より信頼される
病院をめざして

院長・五島 一 征

一六%併せて、一・〇五%の引き下げ改訂が行われ、病院を取り巻く医療経済環境はますます厳しくなりました。

そんななか旧年中には、健康安心サロンに乳房用X線撮影装置を設置し、また、リハビリの機能訓練室増築工事などを行い、診療の質の向上と患者様へサービスの向上に努めました。

また、新しく設置された、医療安全管理室では、医療事故の防止に努め、患者様に、より信頼され安心できる病院を目指しております。

新しい研修医制度の施行に伴い、六名の研修医を採用するなど、将来の安定した医師確保に向けて努めました。

昨年八月には、(財)日本医療評価機構の審査を受審し、無事、病院機能評価の認定を受けることができました。第三者の評価を受けたことにより、院内の環境等がさらによりよい方向へと整備されていっております。

さらに、昨年四月には産婦人科常勤医二名が着任し、一部縮小されていた診療業務が再開され、出産分娩も通常通

り行われるようになりました。

（ 一市二町合併と病院 ）

本年四月一日には、掛川市・大東町・大須賀町の一市二町が合併し、新しい掛川市が誕生します。それに伴い、皆様から寄せられる当院への中核病院としての期待も、さらに高まるものと思われれます。

当院は今後も、新市そして周辺市町村の二次救急病院、そして急性期の医療機関として高度で安心できる医療を皆様に提供していくとともに、地域内の開業医院との連携を大切に皆様の信頼を深めていきたいと考えております。

しかしながら現在、多くの診療科で医師不足であり、皆様にはご迷惑をお掛けしております。なんとしても医師を確保するように努力し、「愛三六五日」の心で、優れた医療を提供していきます。

本年もよろしくご指導のほどお願いいたします。